

教育研究上の目的

現代ビジネス学科は、企業活動を経営や商取引の視点より理論的、実務的に学修し、現代のビジネス社会を総合的に理解し、実践する技能を備えた人材の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本学科の教育研究上の目的等を踏まえ、経済学部現代ビジネス学科では、現代のビジネス社会を総合的に理解し、ビジネスの第一線で役立つ能力を備えた人材の育成を最終目標とします。

本学科では、少人数の長所を活かしたゼミナール及び学科独自の初年次専門教育と3つのコース制専門教育を中核に展開しつつ、英語教育と情報教育を重視して、ビジネスの第一線で活躍できる基礎能力の養成に努めます。さらに、教養教育、キャリア教育を含む全学共通の基礎教育と有機的に関連させることにより、4年間の学修を通じて、コミュニケーション能力と自ら学ぶ力を涵養して、現代のビジネス活動において国際的な視点で課題を解決できる能力を備えた人材の育成を教育目標として定めます。

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

本学科のカリキュラムにおいて、所定の卒業要件単位を修得した者は、次に掲げる能力や資質を身につけていると判断し、学士(商学)が授与されます。

1. 自立した良識ある市民としての判断力と実践力

- (1) 現実のビジネス活動において直面する問題に対応できる情報リテラシーを身につけている。
- (2) 変化の激しい現代社会に求められる基礎的素養としての数的思考力を身につけている。

2. 国際的感性とコミュニケーション能力

- (1) 現代社会において直面するさまざまな問題を国際的な視点から考えることができるとともに文化・社会の違いを理解できる能力を身につけている。
- (2) 他者を尊重しつつ自己との調和を保つことができるコミュニケーション能力を身につけている。

3. 時代の課題と社会の要請に応えた専門的知識と技能

- (1) 基礎的な素養としての教養と専門的知識・技能にもとづいて直面する課題の解決策を考える能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

本学科では、幅広い教養を身につけるとともに、現代社会のビジネス現象を多面的に認識できる専門性とビジネスの第一線で実際に役立つ能力を備えた人材を育成するために、以下に示した方針で教育課程を編成しています。

1. 教育課程の編成・実施

- (1) 外国語科目、教養科目及び経済学・商学という広範な専門分野にわたって、広い知識と教養を身につけられる多彩な分野の科目を配置します。
- (2) 系統的により深く専門科目を修得できるように、①経営・国際ビジネスコース、②マーケティング・流通コース、③企業・会計コースという3つのコースを設けています。
- (3) 企業経営、流通・マーケティング、貿易、会計等の実務的科目のみならず、アジア、中東、ヨーロッパ

パ、アメリカ等の国際地域経済に関する科目を開講しています。

- (4)経済学・経営学・商学・会計学という広範な分野から選べる特定の多彩なテーマに少人数で取り組むゼミナールを2年次第4セメスターから4年次まで設置しています。

2. 教育の方法と評価

- (1)教育課程の実施にあたっては、経済学・経営学・商学・会計学的知識を段階的、体系的に学べるように、入門科目から応用科目(専門科目)へ適切に科目を配置する。入門科目としては、大学教育への適応を容易にするため、初年次に「FYS(ファースト・イヤー・セミナー)」、「現代ビジネス入門」、「経済情報処理基礎」、「経済情報処理」を設けています。また、専門科目も学科に関わる科目やコースに基づく科目を充実させ、カリキュラム編成を行っています。
- (2)大人数教育を是正し、適正規模の履修者数となるように努めています。
- (3)単位制度の実質化を図るため、成績評価の方法及び基準を明確化し、成績評価を厳格化しています。

アドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)

1. 大学教育によって培う能力

- (1)本学科では、幅広い教養を身につけるとともに、現代社会のビジネス現象を多面的に認識できる専門性とビジネスの第一線で実際に役立つ能力を備えた人材を育成します。

2. 本学科の求める入学者

- (1)ビジネス社会・経済問題を様々な視点から分析・考察することに強い関心と学修に必要な基礎学力を持つ人。
- (2)複雑でグローバル化した現代のビジネス社会を深く理解するための国際的な視点を身につけたい人。
- (3)実社会において求められる論理的思考力、判断力、問題発見・解決能力、日本語の基礎学力、外国語によるコミュニケーション能力というような基礎的素養をより高めたい人。
- (4)経営学・商学・会計学を中心とする個々の専門分野のみならず、経済学及び学際的な分野も含めた幅広い専門性を身につけたい人。

3. 高校までの能力に対する評価(選抜方法)

- (1)本学科では多様な入学試験を実施し、様々な視点からの選考を行うことで、商学・経営学全般を学修するうえで必要となる基礎学力を有する学生のほか、商学・経営学を学びたいという強い意欲を有する者やディスカッションに秀でた者、あるいは一定の英語力を有している者など、多様な学生を受け入れます。

教育研究上の目的

現代ビジネス学科は、企業活動を経営や商取引の視点より理論的、実務的に学修し、現代のビジネス社会を総合的に理解し、実践する技能を備えた人材の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本学科の教育研究上の目的等を踏まえ、経済学部現代ビジネス学科では、現代のビジネス社会を総合的に理解し、ビジネスの第一線で役立つ能力を備えた人材の育成を最終目標とします。

本学科では、少人数の長所を活かしたゼミナール及び学科独自の初年次専門教育と3つのコース制専門教育を中核に展開しつつ、英語教育と情報教育を重視して、ビジネスの第一線で活躍できる基礎能力の養成に努めます。さらに、教養教育、キャリア教育を含む全学共通の基礎教育と有機的に関連させることにより、4年間の学修を通じて、コミュニケーション能力と自ら学ぶ力を涵養して、現代のビジネス活動において国際的な視点で課題を解決できる能力を備えた人材の育成を教育目標として定めます。

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

本学科のカリキュラムにおいて、所定の卒業要件単位を修得した者は、次に掲げる能力や資質を身につけていると判断し、学士(商学)が授与されます。

1. 自立した良識ある市民としての判断力と実践力

- (1)現実のビジネス活動において直面する問題に対応できる情報リテラシーを身につけている。
- (2)変化の激しい現代社会に求められる基礎的素養としての数的思考力を身につけている。

2. 国際的感性とコミュニケーション能力

- (1)現代社会において直面するさまざまな問題を国際的な視点から考えることができるとともに文化・社会の違いを理解できる能力を身につけている。
- (2)他者を尊重しつつ自己との調和を保つことができるコミュニケーション能力を身につけている。

3. 時代の課題と社会の要請に応えた専門的知識と技能

- (1)基礎的な素養としての教養と専門的知識・技能にもとづいて直面する課題の解決策を考える能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

本学科では、幅広い教養を身につけるとともに、現代社会のビジネス現象を多面的に認識できる専門性とビジネスの第一線で実際に役立つ能力を備えた人材を育成するために、以下に示した方針で教育課程を編成しています。

1. 教育課程の編成・実施

- (1)外国語科目、教養科目及び経済学・商学という広範な専門分野にわたって、広い知識と教養を身につけられる多彩な分野の科目を配置します。
- (2)系統的により深く専門科目を修得できるように、①経営・国際ビジネスコース、②マーケティング・流通コース、③企業・会計コースという3つのコースを設けています。
- (3)企業経営、流通・マーケティング、貿易、会計等の実務的科目のみならず、アジア、中東、ヨーロッ

パ、アメリカ等の国際地域経済に関する科目を開講しています。

- (4)経済学・経営学・商学・会計学という広範な分野から選べる特定の多彩なテーマに少人数で取り組むゼミナールを2年次第4セメスターから4年次まで設置しています。

2. 教育の方法と評価

- (1)教育課程の実施にあたっては、経済学・経営学・商学・会計学的知識を段階的、体系的に学べるように、入門科目から応用科目(専門科目)へ適切に科目を配置する。入門科目としては、大学教育への適応を容易にするため、初年次に「FYS(ファースト・イヤー・セミナー)」、「現代ビジネス入門」、「経済情報処理基礎」、「経済情報処理」を設けています。また、専門科目も学科に関わる科目やコースに基づく科目を充実させ、カリキュラム編成を行っています。
- (2)大人数教育を是正し、適正規模の履修者数となるように努めています。
- (3)単位制度の実質化を図るため、成績評価の方法及び基準を明確化し、成績評価を厳格化しています。

アドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)

1. 大学教育によって培う能力

- (1)本学科では、幅広い教養を身につけるとともに、現代社会のビジネス現象を多面的に認識できる専門性とビジネスの第一線で実際に役立つ能力を備えた人材を育成します。

2. 本学科の求める入学者

- (1)ビジネス社会・経済問題を様々な視点から分析・考察することに強い関心と学修に必要な基礎学力を持つ人。
- (2)複雑でグローバル化した現代のビジネス社会を深く理解するための国際的な視点を身につけたい人。
- (3)実社会において求められる論理的思考力、判断力、問題発見・解決能力、日本語の基礎学力、外国語によるコミュニケーション能力というような基礎的素養をより高めたい人。
- (4)経営学・商学・会計学を中心とする個々の専門分野のみならず、経済学及び学際的な分野も含めた幅広い専門性を身につけたい人。

3. 高校までの能力に対する評価(選抜方法)

- (1)本学科では多様な入学試験を実施し、様々な視点からの選考を行うことで、商学・経営学全般を学修するうえで必要となる基礎学力を有する学生のほか、商学・経営学を学びたいという強い意欲を有する者やディスカッションに秀でた者、あるいは一定の英語力を有している者など、多様な学生を受け入れます。